

The Clarinotts



ザ・クラリノッツ

THE CLARINOTTS, Clarinet Trio

クラリネット・トリオ「ザ・クラリノッツ」は、ウィーン・フィルハーモニーの首席クラリネット奏者であるエルンスト・オッテンザマーと彼の2人の息子ダニエルとアンドレアスによるユニークなアンサンブルである。ダニエルは父と同じくウィーン・フィルの、アンドレアスはベルリン・フィルの首席クラリネット奏者。3人はそれぞれソリストとして第一線で活躍するかたわら、2005年にこのトリオを結成した。コンサートでは、バセットホルンやバスクラリネットなど、さまざまなクラリネットを用いて、1本から4本のクラリネットのために書かれた作品や、自ら編曲した作品などに至る幅広いレパートリーで観客を魅了する。また、彼らのために多数の作品が委嘱されている。

彼らの活躍の場は、ヨーロッパ、アジアでのリサイタル・ツアーだけでなく、一流オーケストラや音楽祭にソリストとしても招かれている。2016年1月には、ウィーン楽友協会とアンドリス・ネルソンス指揮ウィーン・フィルハーモニーのソリストとして演奏。この特別な演奏会のために、オーストリア系ハンガリア人の作曲家イワン・エレートに、3本のクラリネットとオーケストラのための協奏曲が委嘱された。

2016年には、「ザ・クラリノッツ」のCDがドイツ・グラモフォンよりリリースされる。

<http://www.theclarinotts.com/>

エルンスト・オッテンザマー

Ernst Ottensamer

1955年オーストリア・グリースキルヒェン生まれ。1979年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団およびウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、1983年以来ソロ首席奏者として活躍。1986年から母校であるウィーン国立音楽大学で教鞭を執り、2000年にはクラリネット科の教授に就任した。長きにわたってトッププレイヤーとして活躍を続け、ソリストとしてウィーン・フィルハーモニー、ブダペスト・フィルハーモニーなど数々の名門オーケストラと共演。オーストリア国内にとどまらず、世界各国のフェスティバルにゲストとして出演し、その卓越したパフォーマンスを披露している。

また、ウィーン・ヴェルトゥオーゼン、ウィーン・ウインド・アンサンブルなどの室内楽アンサンブルの創設者でもあり、室内楽奏者としての舞台経験も豊富である。ソロ、室内楽において多くのCD作品の制作にも携わっている。

ダニエル・オッテンザマー

Daniel Ottensamer

1986年ウィーン生まれ。2009年カール・ニールセン国際クラリネットコンクール（デンマーク）で優勝。同年ウィーン国立歌劇場管弦楽団およびウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席奏者に就任。ソリストとして、NHK交響楽団、ザルツブルク・モーツァルトフェスティバル管弦楽団、ケルン放送交響楽団、ウィーン放送交響楽団、ウィーン室内管弦楽団などと共演、またロリン・マゼール、アダム・フィッシャー、などとも共演多数。アジア各国、アメリカ、ヨーロッパ各地で多くのツアー、マスタークラスをおこなっている。

室内楽でも、バーバラ・ボニー、トーマス・ハンブロン、ジュリアン・ラクリン、クレメンス・ハーゲン、シュトイデ弦楽四重奏団と共演、「ザ・フィルハーモニクス」などのアンサンブルでも活躍している。

ブラムス、ウェーバーのクラリネットソナタ（ピアノ：クリストフ・トラクスラー）「Classic Concert Records」をリリース。

<http://www.danielottensamer.com/>

アンドレアス・オッテンザマー

Andreas Ottensamer

1989年ウィーン生まれ。4歳からピアノ、10歳からチェロを学び始め、11歳でクラリネットに転向。2003年よりウィーン国立音楽大学でヨハン・ヒンドラーに師事。マラー・ユージェント・オーケストラメンバーとしてオーケストラのキャリアを開始。ハーバード大学在学中の2009年、ベルリン・フィルハーモニー・アカデミーに入学。ベルリン・ドイツ交響楽団首席奏者を経て、2011年には弱冠21歳にしてベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者に就任した。これまでにウィーン楽友協会、ベルリンのフィルハーモニーなど世界の名だたるホールでソリスト、室内楽奏者として公演。マレイ・ペライア、レイフ・オヴェ・アンズネス、ヨーヨー・マなど著名な奏者たちとも共演を重ねている。

2013年2月、ドイツ・グラモフォン/マーキュリー・クラシックスと専属レコーディング契約を結び、同年5月デビューアルバム「ポートレイト・クラリネット・アルバム」をリリース。アメリカのシンガーソングライター、トリー・エイモスのニューアルバム『ナイト・オヴ・ハンターズ』に参加するなど他分野とのコラボレーションも盛んにおこなっている。

<http://andreasottensamer.com/>

菊池洋子 (ピアノ) Yoko Kikuchi, Piano

2002年第8回モーツァルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝して一躍注目を集めた。その後、2003年にザルツブルク音楽祭のモーツァルト・マチネに出演するなど国内外で活発に活動を展開し、いまや実力・人気ともに日本を代表するピアニストの一人である。これまで、国内の主要オーケストラとの共演はもとより、リサイタル、オーケストラとの共演、室内楽演奏会で成功を収めている。2009年には、モーツァルトのピアノ・ソナタ全曲をフォルテピアノとモダンピアノを用いて演奏するといった意欲的な企画に取り組み好評を得た。2010年にはチューリヒでのリサイタルや、2011年にシュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭やパレルモ音楽祭への参加などで絶賛を博した。

最近では、バレエ公演にも出演し、世界的バレエダンサー ディアナ・ヴィシニョワや吉田都ほかと共演している。

CD録音も活発に行い、エイベックスとオクタヴィアよりリリースしている。最新盤は小品集「ロマンティック・アンコール」（エイベックス・クラシックス）。

第1回上毛芸術文化賞（音楽部門）受賞。2007年第17回出光音楽賞受賞。

菊池洋子オフィシャルホームページ <http://www.yokokikuchipf.com/>


京都コンサートホール
KYOTO CONCERT HALL

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26
地下鉄丸線北山駅1・3番出口より南へ徒歩5分
TEL: 075(711)2980(代表)

チケットのご予約・お問い合わせ
TEL: 075-711-3231
(10:00~17:00 第1・第3月曜日 休)



●プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード272-485)
e+(イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯・スマートフォン)

24時間いつでも! オンラインチケット購入

詳しくはWEBで

京都コンサートホール

検索